

令和8年度平和館ミニ企画展「尊厳ある生を考える 人権ポスター展」を開催します

川崎市平和館では、市民の平和に対する理解を深めるため、「人権」を解説したパネルと、芸術を専攻する学生が制作した、来場者が直感的に人権について考えるきっかけとなる人権ポスターを令和8年6月13日（土）～7月12日（日）に展示します。

関連イベントとして、シリアから出発しヨーロッパを縦断する人形が、各地で歓迎や拒絶に遭いながら、旅をするドキュメンタリー「ザ・ウォーク～少女アマル、8,000キロの旅～」を6月27日（土）に上映します。

1 ミニ企画展 尊厳ある生を考える 人権ポスター展

(1) 期 間 令和8年6月13日（土）～7月12日（日）9時～17時
（期間中の月曜日及び6月16日（火）は休館）

(2) 場 所 川崎市平和館 平和の広場（川崎市中原区木月住吉町33-1）
※入場無料・申込不要

(3) 内 容 「尊厳ある生を所有する権利」として人権を概説したパネルや芸術大学の学生がデザインを担当した人権ポスターの展示

2 関連イベント（ドキュメンタリー上映会）「ザ・ウォーク」

(1) 日 時 6月27日（土）14時～15時20分

(2) 場 所 川崎市平和館 平和の広場

(3) 申 込 事前申込制、60名（入場無料）

(4) 申込方法 平和館HPの申込みフォーム・電話・ファックス

※電話・ファックスでお申し込みの際は、イベント名、お名前、御住所（町名まで。番地は不要）・電話番号・参加人数をお伝えください。

(5) 申 込 先 川崎市平和館

電 話 : 044 (433) 0171

F A X : 044 (433) 0232

H P : [https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/](https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/288-5-22-0-0-0-0-0-0-0.html)

288-5-22-0-0-0-0-0-0-0.html



3 主 催 川崎市平和館

4 アクセス JR南武線、JR横須賀線、東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」、東急東横線・目黒線「元住吉駅」から徒歩約10分

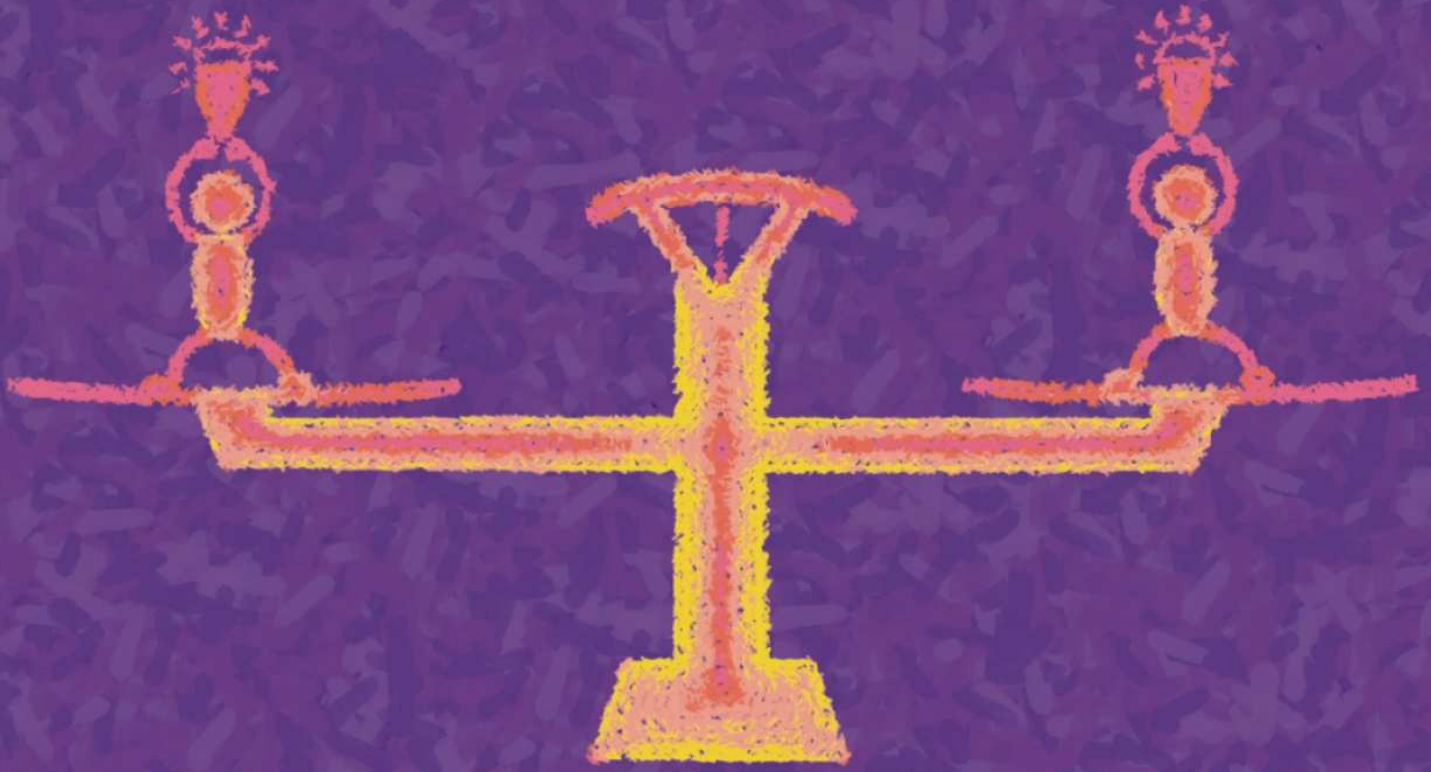
問合せ先

川崎市市民文化局平和館 亀山

電 話 044 (433) 0171

令和8年度 ミニ企画展

尊厳ある生を考える。 人権ポスター展。



開催期間:2026(令和8)年 6月13日(土)~7月12日(日)

開催期間中の休館日: 毎週月曜日と6月16日(火)

開催場所: 川崎市平和館 1階 平和の広場

入場無料

開館時間: 9:00-17:00

主催: 川崎市平和館



川崎市平和館
川崎市中原区木月住吉町33-1
Tel: 044-433-0171 Fax: 044-433-0232



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ミニ企画展 関連イベント 上映会

ザ・ウォーク

～少女アマル、8000キロの旅～



監督: タマラ・コテフスカ

製作: Grain Media 配給: ユナイテッドピープル

80分/ イギリス/ 2023年/ ドキュメンタリー

『ザ・ウォーク ～少女アマル、8000キロの旅～』は、巨大な人形の少女「アマル」の旅を描いた物語です。

アマルはシリア難民を象徴する存在としてトルコから欧州を縦断します。各地で歓迎や拒絶に遭いながらも希望を捨てないアマルの姿は、トルコ国境を越えられずにいる実在の少女アシルの「おとぎ話」となります。アシルはアマルに自分を投影し、空想の中で自由を手にしますが、やがて現実と向き合い、自らの力で歩む決意を固めます。

作品には、人形を操るシリアやパレスチナ出身の若者たちの人生も重なり合い、単なる旅の記録を超えて、居場所を求める人々の痛みと再生を優しく、力強く描き出しています。



©JEAN DAKAR

上映日: 2026(令和8)年6月27日(土)

上映開始時間: 14時(80分) 無料

上映会場: 川崎市平和館 1階平和の広場

お申し込みは右の二次元コードから→

